# 6 ため池調査・氾濫解析業務

頻発化する大規模自然災害に対応するため、ため池の実態把握が急務となっています。本業務では、ため池の劣化状況の把握に加え、決壊時の被害規模をシミュレーション (ため池氾濫解析)し、対策緊急度を判定します。

#### (1) ため池調査・氾濫解析業務の流れ

### 現地調査

現地にて堤体の堤高、堤長、堤幅、堤体の主材料、堤体や施設の 劣化状況を調査します。

資料の収集 諸元の整理 地形図等を利用し、流域面積、満水面積を測定し、設計洪水量を 算定、洪水吐など既存施設の能力を検証します。



ため池氾濫解析

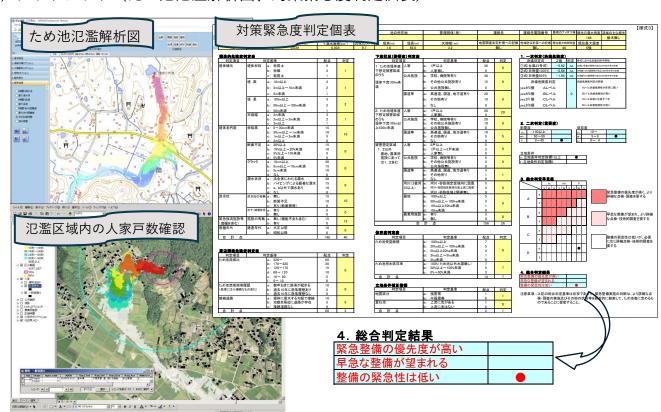


対策緊急度判定

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門の監修のもと開発された「ため池氾濫解析ソフト SIPOND (Professional 版)」を利用し氾濫解析を実施します。

調査、解析結果を項目ごとに数値化、判定式にて対策緊急度を総 合的に判定します。

### (2) アウトプット (ため池氾濫解析図、対策緊急度判定個表)



調査や氾濫解析が必要なため池がありましたら、ご相談ください。

【 農村環境課 TEL 019-631-3204 】

# 7 ため池ハザードマップ作成業務

「ため池調査・氾濫解析業務」で作成したデータベースをもとに抽出された「防災重点農業用ため池」は、下流域への影響度に応じて対策を講じる必要があります。本業務では、詳細な条件により氾濫シミュレーションを実施、ため池ハザードマップを作成します。

#### (1) ため池ハザードマップ作成業務の流れ

氾濫シミュレーション

1

「ため池調査・氾濫解析業務」で行うため池氾濫解析に比べ、より詳細な条件により氾濫シミュレーションを実施します。

現地調査

1

現地調査により、条件設定や氾濫シミュレーションによる 氾濫エリアの妥当性を確認します。

ワークショップの参加



地域住民参加のワークショップに参加し、過去の被害履歴 等の情報収集や避難場所の確認を行います。

ため池ハザードマップ作成

浸水想定区域図に避難場所及び連絡体制等の情報を明示して、ため池ハザードマップを作成します。

## (2) アウトプット (氾濫シミュレーション、ため池ハザードマップ)



ハザードマップ作成に向けた技術的な支援を行いますので、ご相談ください。

【 農村環境課 TEL 019-631-3204 】